

加工・業務用品種が続々

青果育種研 熊本市場で品種見本市

卸売業者と種苗会社からなる青果育種研究会

は、熊本地方卸売市場（熊本市西区）で第15



萩原農場はシードレススイカを紹介

2回品種見本市を開催した。「加工・業務用野菜をつくるう」をテーマに種苗12社が推奨品種を展示し、会場は生産者や流通業者などで賑わった。

同県は日本を代表するトマト産地だけに、半数以上の種苗会社が出品。このうち「アニモティー

12」（朝日工業）は秀品率が高く、ゼリー部が少ない特徴を持つ。「桃太郎ピース」（タキイ種苗）は220℃前後の大玉となるうえ、玉がかたく日持ち性に優れる。

また、スイカ、メロンの出品も目立った。加工・業務用として注目されるシードレススイカではナント種苗が「3Xブラックジャック」を、萩

原農場が「ひとつたねB ear」を紹介。ともにブロッコカットでの販売にも適している。

このほか、品薄になりがちな5月の収穫が期待できるキャベツ「かおるだま」（サカタのタネ）、「錦恋」（トーホク）も。タマネギではカネコ種苗が1玉300℃程度に揃い食味の良い「ヒーロー」を出品。住化農業資材では、低温肥大性があり厳寒期の収穫に適したレタス「アンドレ」などを紹介した。